

## 令和6年度 学校経営計画書

学校番号	3	学校名	静岡県立稲取高等学校	校長名	森 泰博
------	---	-----	------------	-----	------

## 1 スクール・ミッション

地域に根差した地域と共にある高校として、多様な進路希望に応じた少人数教育と、地元行政や企業、地域で活動する大学等との連携・協働学習を通して、自らの将来を切り拓く力と、東伊豆地域の今と未来に主体的に関わり、地域社会に貢献できる人材の育成を目指す。

## 2 目指す学校像

## (1) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー
<p>「自己を律し、他者を大切にする」力の育成</p> <p>①「自己管理力」・・・一歩前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組む力</p> <p>②「人間関係調整力」・・・他者を尊重し、多様な人々と協力する力</p> <p>&lt;育てたい資質・能力&gt;</p> <p><b>規律性</b>：基本的生活習慣を確立し、社会のルールや他者との約束を守る誠実さ</p> <p><b>協調性</b>：他者を認め、思いやり、誰とでも協働できる力</p> <p><b>チャレンジ精神</b>：得意なことだけでなく、苦手なことにも進んで取り組む力</p> <p><b>忍耐力</b>：困難なことにも諦めずに、最後までやり抜く力</p>
カリキュラム・ポリシー
<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な進路に対応するコース制と興味関心に応じた幅広い選択科目の設置</li> <li>個に応じたきめ細やかな支援を可能にする少人数・小集団授業の展開</li> <li>基礎基本を重視するとともに、他者との協働や発表の場面を取り入れた主体的学びの実践</li> <li>地域行政・企業・大学等と連携したキャリア教育と、地域をフィールドとした探究的学びの実践</li> <li>自己を鍛え、仲間とともに高め合う心や社会貢献の姿勢を育む部活動</li> </ul>
アドミッション・ポリシー
<ul style="list-style-type: none"> <li>自ら進んで学習に励み、より高い目標に向かってチャレンジしようとする生徒</li> <li>学校行事、部活動、地域との交流等に積極的に参加し、自分の可能性を伸ばす意欲のある生徒</li> <li>学校生活を通して規範意識を高め、仲間を大切にし、ともに成長したいという意志のある生徒</li> </ul>

## (2) スクール・ポリシー具現化の柱

- ア 高い志を持ち、日々努力する姿勢を育むとともに、志望に応じた進路実現を図る。
- イ 基礎学力の定着を図るとともに、ICTを活用する等、個別最適な学びの研究・実践をする。
- ウ 豊かな人間性と人権意識の育成を図り、生徒が主体的・協働的に行動する教育活動を実践する。
- エ 基本的生活習慣を確立し、規範意識を醸成するとともに、たくましい心身を育成する。
- オ 生徒の安全意識の向上を図るとともに、安全・安心な教育環境を整備する。
- カ 地域との連携を推進とともに、地域・家庭への積極的な情報発信を図る。
- キ 働き方改革の実現に向け、教員の意識を高め、効率的な学校運営を目指す。

様式第1号

3 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	高い志を持ち、日々努力する姿勢を育むとともに、志望に応じた進路実現を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラス・コースの特色を活かした進路意識の高揚</li> <li>・3年間を見通した探究活動の推進</li> <li>・大学や地元行政・企業等と連携したキャリア形成</li> </ul>	「進路や将来の生き方についての考えが深まった」と答える生徒 90%	進路課 管理職
イ	<b>基礎学力の定着を図るとともに、ICTを活用する等、個別最適な学びの研究・実践をする。</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学び直しから段階的に基礎学力を定着させる指導の工夫</li> <li>・小集団編成によるきめ細かい指導、ICTを活用する等、個に応じた学習及び学習習慣確立の研究・実践</li> <li>・学習意欲を高め家庭学習等を促進する指導の工夫</li> </ul>	「先生の授業がわかりやすい」と答える生徒 90%	教務課
ウ	豊かな人間性と人権意識の育成を図り、生徒が主体的・協働的に行動する教育活動を実践する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールカウンセラーと連携した人権教育の実施</li> <li>・主体的・協働的な活動を通したホームルーム活動・学校行事運営</li> </ul>	「学校に居場所がある」と答える生徒 90%	生徒保健課
エ	<b>基本的な生活習慣を確立し、規範意識を醸成するとともに、たくましい心身を育成する。</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目線を合わせた組織的生徒指導の実現</li> <li>・面談や生活時間帯調査を通した「目と手と心の行き届く」支援</li> <li>・外部との連携による規範意識の啓発</li> </ul>	「基本的な生活習慣が改善された」と答える生徒 90%	生徒保健課
オ	生徒の安全意識の向上を図るとともに、安全・安心な教育環境を整備する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が主体的に参加する防災講座や防災訓練の実施</li> <li>・施設設備の定期的点検及び迅速な対応</li> </ul>	防災講座で防災意識が高まった生徒 80%  「学校の施設設備は管理が行き届いている」と答える生徒 70%	総務課 事務部
カ	地域との連携を推進するとともに、地域・家庭への積極的な情報発信を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業、部活動、学校行事等で地域活動に積極的に参加</li> <li>・SNSやホームページ、学校だより等、様々な媒体による積極的な情報発信</li> </ul>	「本校では地域との連携が積極的に行われている」と答える生徒・保護者 90%  「情報発信を積極的に行っている」と答える保護者 80%	生徒保健課 総務課
キ	勤務時間管理に対する教員の意識を高め、効率的な学校運営を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTや外部人材の効果的活用</li> <li>・スクール・ポリシーに照らした業務改善の推進</li> <li>・定時退庁日の設定と声掛け</li> </ul>	長時間勤務者の削減と健康管理の徹底	管理職